ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

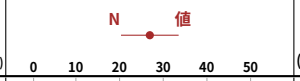
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.2	調査位置				北　緯	37 ° 01 ' 33.0000 "
発 注 機 関	大田原土木事務所			調査期間	2008-11-20 ～ 2008-11-25	東　経	139 ° 56 ' 49.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	498.17 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	8.32 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	497.27	0.90	0.90		礫混じりシルト (M-G)	黒色		軟らかい	Gl－0.5m付近まで盛土様相を呈する。 含水、粘性共にやや高位。	現世	
1	496.82	0.45	1.35		シルト(黒ぼく) (M)	黒～黒褐		軟らかい	含水、粘性共にやや高位。有機物を混入		
					ローム (Lm)	暗茶褐～黄茶褐			含水、粘性共にやや高位。有機物を混入。		
2	495.97	0.85	2.20		砂礫 (GS)	灰褐	密な	軟らかい	含水下位。 礫はφ2～60mmの角礫、亜角礫主体。 最大礫径70～80mmの角礫が点在する。 6.4m以深、所々に5cm程度の砂層を挟む。 6.80m～7.05m間、細粒土まじりの砂層。 705m以深、φ40～50mmの礫、密に混入。	更新世	11/25 6.82
8	489.85	6.12	8.32								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／26	1／18		2／44	1
1.59					
2.15	7	10	7	24／30	24
2.45					
3.15	21	21	8／3	50／23	>50
3.38					
4.15	14	17	17	48／30	48
4.45					
5.15	23	23	4／2	50／22	>50
5.37					
6.05	38	12／5		50／15	>50
6.20					
7.15	21	29／9		50／19	>50
7.34					
8.15	22	28／7		50／17	>50
8.32					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						11/20
						11/21
						11/25